

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 11 月 30 日 (20 : 00～20 : 30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

出席者 小栗・小林・吉野・米澤・山下・藤本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	6			8

前回の改善計画
利用初期の方に対しては特に意識して声かけを行ない、不安なことや困りごとを聞く姿勢を意識する。送迎時に家族と関わる時は、通いの様子を伝えたり自宅での様子を聞いたりして情報を集め、ケアマネージャーと共有していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
利用開始前にケアマネージャーからの情報提供を把握し、その情報を基にコミュニケーションをとり、不安や困りごとを理解に努めている。家族とも、送迎時に利用時や自宅での様子を情報交換し関係作りを行なっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	5			8
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	3	5			8
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	3	4	1		8
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	6			8

できている点
・サービス開始前にケアマネからの細かい情報提供があるので本人や家族の気持ちや困っている事がしっかり把握できている。 ・朝礼や終礼、連絡ノート、申し送りを通して情報を共有できている。 ・送迎時など家族との関わる時に利用時の様子を伝えたり、自宅の様子を聞いたりすることができている。

できていない点
・訪問のみの利用者の情報が間接的にしか聞けていない。 ・時々、共有できていない情報がある。 ・介護職は家族との関わりが送迎時のみなので不安などをじっくりと聞けていない。 ・家族からの情報がケアマネを通して中心となっている。

次回までの具体的な改善計画
関わる時間が少ない家族とも、通い時の様子を具体的に伝えることにより、安心感を持ってもらえるようにする。自宅での様子や困りごとなども、職員から声をかけることで、聞きだせるように働きかけていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 11 月 30 日 (20 : 00～20 : 30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

出席者 小栗・小林・吉野・米澤・山下・藤本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		8			8

前回の改善計画

「～したい」という希望を聞いたり、引き出したりできるよう本人に寄り添う姿勢を意識しながら関わる。「～したい」ということには実現できるように取り組み、本人に「～できた」という満足感を持ってもらう。

前回の改善計画に対する取組み結果

本人の希望を聞きだせるように取り組んだ。聞きだした希望はできるだけ実現できるように取り組み、長年いけていなかったお墓参りを実現することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		6	2		8
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		7	1		8
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		6	2		8
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		6	1	1	8

できている点

日々の関わりの中でコミュニケーションをしっかりととり、困っている事、不安に思っている事、こうしたいと考えている事を理解する姿勢を意識している。
朝礼、終礼を行うことで、お互いが気付いたことを共有することにより振り返りや次の対応に繋げることができている。

できていない点

担当の利用者のみしか把握できていないことがあり、全員の利用者に対して取り組めていない部分がある。
集団での活動が多くなると個別性がなくなる事がある。
認知症や介護度が高い方はどうしても、本人より家族の意向が優先されてしまうことがある。

次回までの具体的な改善計画

引き続き本人の「～したい」の実現に向け、希望の把握や実践を行なっていく。また本人の思いと家族の思いがある中で、それぞれの思いを共有できるように職員がアプローチしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 11 月 30 日 (20 : 00～20 : 30)

3. 日常生活の支援

出席者 小栗・小林・吉野・米澤・山下・藤本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	6			8

前回の改善計画
本人の話したありのままの言葉をより多く記録に残すようにし、本人の気持ちの変化を把握していく。少しの気づきでも、職員同士で共有し、早めの対応をしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
記録に本人の発した言葉をそのまま記入し、他の職員にも本人の気持ちを把握できるようにしている。記録以外にも、終礼時に通い時の様子やモニタリングでの情報を共有し支援に活かしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?		3	4	1	8
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	4	1		8
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		8			8
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	5			8
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	4	1		8

できている点
本人の気持ちや体調の変化を共有し、支援や本人に合わせた介護ができている。体調の変化やなどを把握し、施設でできる事、家族ができる事を共有し支援している。

できていない点
今の暮らし方については把握できているが、以前の暮らし方については把握できていないことがある。人により以前の暮らし方の把握にバラつきがある。 状況の変化を口頭では伝えているが記録として充分ではないことがある。 訪問だけの利用の方とは十分なコミュニケーションがとれず、把握できる内容が少なくなってしまう。

次回までの具体的な改善計画
本人の以前の暮らし方を把握するために日頃から会話などを通して情報を得るように心がける。知り得た情報はアセスメントシートなどに記録していくようにして、職員間でも情報が共有できるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 11 月 30 日 (20 : 00～20 : 30)

4. 地域での暮らしの支援

出席者 小栗・小林・吉野・米澤・山下・藤本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		6	2		8

前回の改善計画
日々の業務の中で生活状況の把握に努め、新たに知った情報はケアマネージャー伝えアセスメントシートに反映し共有していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
生活状況の変化などを知れば、職員間やケアマネージャーと情報の共有を行なっている。情報も日々の記録として残しているが、口頭のみ情報共有やアセスメントシートへの反映ができていないこともある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		6	2		8
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	4	3		8
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	4	3		8
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		3	4	1	8

できている点
訪問や送迎などの関わりからその方の周辺の環境を理解し、本人とのコミュニケーションや家族からの情報で理解を深めている。 利用者の情報はできるだけ理解できるように努め、得た情報はケアマネに伝えている。

できていない点
地域の資源等の把握はあまりできていない。 自宅で過ごしている時の様子はあまり把握できていない。

次回までの具体的な改善計画
通い以外の時間帯の生活の様子を把握できるように、業務の中でのアセスメントを意識しながら行なう。家族からも送迎時やモニタリングを通して生活状況の把握できるように努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 11 月 30 日 (20 : 00~20 : 30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

出席者 小栗・小林・吉野・米澤・山下・藤本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		7	1		8

前回の改善計画
日々のかかわりの中の変化をケース記録に残す。利用者の普段利用している地域の資源（スーパーやいきつけの店）の把握をする。
前回の改善計画に対する取組み結果
日々のかかわりの中での変化は記録したり、終礼時などで情報共有したりできている。地域の資源（スーパーやいきつけの店）の把握は概ねできているが、資源を使っての支援まではできていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		4	3	1	8
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	1	7			8
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	1	7			8
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	6			8

できている点
変化があれば会議や記録を通して共有している。 ニーズに応じて通いなどを妥当適切に提供している。 その日の本人の状態に合わせて柔軟な提供（通いや訪問の追加）ができている。 個々に応じて地域の資源を活用している。

できていない点
利用者によっては地域の資源を使っての支援が不足していることがある。 職員の配置状況によっては、柔軟な対応ができない場合がある。

次回までの具体的な改善計画
元々の地域との関わりを知り、地域の資源を活用できるようにする。施設に来て過すだけのサービスではなく、資源を活かしたサービス提供の形を考えていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 11 月 30 日 (20 : 00~20 : 30)

6. 連携・協働

出席者 小栗・小林・吉野・米澤・山下・藤本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	5	1	1	8

前回の改善計画
その他のサービス機関との連携を日々の情報共有や会議などを通して行なっていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
管理者とケアマネージャーが主にその他のサービス期間との連携や会議を行なっている。介護職はなかなか他のサービス機関との関わりがないが、日々の情報を管理者、ケアマネージャーに報告できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?		2	2	4	8
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?		1	2	5	8
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?		2	3	3	8
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1	2	2	3	8

できている点
事業所の代表が自治体や地域包括支援センターとの会議に参加している。 東成区のふれあい広場など地域のイベントに参加している。 必要に応じて他事業所との会議を行っている。 地域交流のイベントをハミングベル緑橋全体として行っている。

できていない点
以前に比べて地域のイベント参加の回数が減っている。 人員配置などの都合により、その他のサービス機関との会議をするための時間の確保が難しく、必要な時期に会議が開催できないこともある。

次回までの具体的な改善計画
引き続き、その他のサービス機関との連携を意識して行なっていく。介護職からの日々の情報をその他のサービス機関とも共有できるように会議を行なっていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 11 月 30 日 (20 : 00~20 : 30)

7. 運営

出席者 小栗・小林・吉野・米澤・山下・藤本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	5		1	8

前回の改善計画
利用者へのより良い環境づくりのために、その人が必要としていることや整えるべき環境を考え、会議などの場で発信や共有をしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
終礼や会議時に、それぞれの立場（介護職・看護師・ケアマネージャー・管理者）からの視点で意見を出し合うことができている。今ある問題点や、利用者からの苦情や要望も、話し合いを行ない改善できるようにしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	1	3	2	2	8
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	5			8
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	3	2		8
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		4	4		8

できている点
利用者や家族からの意見、要望、苦情があれば、都度内容を把握し適切に対応している。事業所のあり方について会議や日頃の関わりの中で職員として意見を言うことができている。

できていない点
地域の中の困りごとなどの相談の役割が地域包括支援センターとの認識があるため、積極的に困りごとなど相談ができていない。

次回までの具体的な改善計画
引き続き、利用者へのより良い環境づくりのために、その人が必要としていることや整えるべき環境を考え、会議などの場で発信や共有をしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 11 月 30 日 (20 : 00～20 : 30)

8. 質を向上するための取組み

出席者 小栗・小林・吉野・米澤・山下・藤本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3	4		1	8

前回の改善計画
勤務の都合などで研修会に参加できる職員に差があるため、参加人数の多いフロア会議で主な研修を行ない、より多くの職員に伝達できるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果
施設内の研修をフロア会議内で実施することでより多くの職員が研修に参加することができた。研修に参加できなかった職員に対しては、資料を回覧し自己学習をするようにしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか		5	2	1	8
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		2	4	2	8
③	地域連絡会に参加していますか		2	1	5	8
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		7	1		8

できている点
フロア会議内で研修を実施し、参加できない職員も書類を回覧し情報を共有している。事業所の代表が地域の連絡会に参加できている。 リスクマネジメントの取り組みは、ヒヤリハットを意識的に多くのあげるなどで事故の防止や再発予防に努めている。

できていない点
施設外の研修は、人員的に勤務内で参加することは難しい現状。個人の時間で研修に参加していることが多い。 ヒヤリハットの報告がまだまだ少なく、報告に上がっていない事柄もある。

次回までの具体的な改善計画
ヒヤリハット報告を数多くあげるにより事故の防止や、利用者の状態の変化に気づけるようにする。職員のヒヤリハットに対する意識を替え、気づいたことはお互いに言い合える環境にしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 11 月 30 日 (20 : 00～20 : 30)

9. 人権・プライバシー

出席者 小栗・小林・吉野・米澤・山下・藤本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		7		1	8

前回の改善計画
プライバシーや個人情報について意識しながら業務を行なう。気になることや遵守できていない場面があれば、職員間で声をだしあい見直しや業務改善を行なう。
前回の改善計画に対する取組み結果
プライバシーや個人情報について意識しながら業務を行なった。毎日終礼時に、声かけチェックを行ない振り返りができる時間を設けている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	4	4			8
②	虐待は行われていない	6	2			8
③	プライバシーが守られている	4	4			8
④	必要な方に成年後見制度を活用している	4	2	1	1	8
⑤	適正な個人情報の管理ができている	2	6			8

できている点
会議を通して、身体拘束や虐待防止、プライバシーの保護などについて研修を行なうことや業務の中で振り返りを持つようにしている。 それぞれの職員が身体拘束や虐待防止、プライバシーの保護について意識しながら業務を行なっている。 必要な方には成年後見制度を利用している。

できていない点
業務内での申し送りが利用者に聞こえてしまっていることがある。 急な対応になると、とっさにスピーチロックをしてしまうことがある。

次回までの具体的な改善計画
引き続き、プライバシーや個人情報について意識しながら業務を行なう。気になることや遵守できていない場面があれば、職員間で声をだしあい見直しや業務改善を行なう。